

平成28年度事業報告書（抜粋）

I. 会員数報告

正会員	128名	(125名)
賛助会員	59名	(63名)
合計	187名	(188名)

()内は昨年同期における会員数

II. 事業報告書

平成28年度の協会活動を次の4事業に大別して報告する。

1. 刊行事業
2. 講演・講習会等の事業
3. 会議・委員会・部会活動推進事業
4. その他の事業(開発・研究関連等)

1. 刊行事業

本会の機関誌である協会誌「強化プラスチック」(月刊)の更なる内容充実に努めた。協会誌の編集会議を毎月1回開催し、協会誌の特集、連載講座、その他新たな企画をし、読者が読みやすくなる協会誌作りに努めた。

電子メールでの会員の声の投稿先を継続的にご案内して意見を求め、毎号協会誌発行後に会員メールで読後のご意見・ご感想を求め、協会誌の「会員・読者の欄」への公開を継続中。

- (1) 協会誌「強化プラスチック」(Vol.62, No.04～Vol.63, No.03)
平成28年1月号(Vol.62, No.01)から表紙デザインコンペの優秀作品を採用していたが、平成29年1月号(Vol.63, No.01)から少し薄い色に変更した。
- (2) 61st FRP CON-EX 2016 講演要旨集
- (3) 刊行物、記念出版物等の販売
- (4) 出版物増刷等フォロー

2. 講演・講習会等の事業

- (1) 講演・講習会・セミナー等

【当協会が主催したもの】

- ① 61st FRP CON-EX 2016 (第61回 FRP 総合講演会・展示会)

平成28年11月24、25日に広島県情報プラザで協会創立61周年を記念する事業として執り行った。

総合実行委員長 松岡 孟 (広島県立総合技術研究所)

講演部門委員長 佐々木 元 (広島大学)

展示部門委員長 濱田 卓嗣 (ダイクレ)

協賛 70 関連学・協会

会期 平成28年11月24日(木)、25日(金)

会 場 広島県情報プラザ
協会創立 61 周年記念交流会 150 名参加
期 日 平成 28 年 11 月 24 日 (木) 夕刻
会 場 広島県情報プラザ
講 演 450 名参加
キーノート 2 件
特別講演 3 件
一般講演 38 件
展示 一般展示 37 企業・団体 43 ブース
特別展示 1 企業
表彰 論文賞 (2 社)
ポスターセッション賞 (2 名)

② FRP 懇話会 (担当理事：末益博志 (上智大学))

第 9 回

日 時：平成 28 年 5 月 18 日 (水) 17:00~19:00

会 場：強化プラスチック協会 会議室

話題提供者：強化プラスチック協会 角田 敦 氏

題目：FRP の土木・建築用途展開

第 10 回

日 時：平成 28 年 11 月 1 日 (火) 17:00~19:00

会 場：強化プラスチック協会 会議室

話題提供者：京都工芸繊維大学 伝統みらい教育研究センター教授 大越雅之 氏

題目：FRP と CFRP の難燃化

③ 第 29 回 FRP 入門講習会 (東京)

期 日：平成 28 年 6 月 20 日 (月)

会 場：日本大学理工学部 駿河台校舎

企画実施 情報・編集委員会 参加者 30 名

【当協会が共催/後援/協賛したもの】

関西 FRP フォーラム【FRP 入門講習会】

(関西 FRP フォーラム、強化プラスチック協会共催)

期 日 平成 28 年 9 月 14 日 (水)

会 場 大阪市立工業研究所

参加者 30 名

他の講演/協賛を含め計約 35 件

3. 会議・委員会・部会活動推進事業

各々の組織内コミュニケーションを十分語りつつ、変革期にある産業界において斯業界ニーズにマッチした活動を展開する。

< 3-1 会議関係 >

運営会議

当会議は会の事業・予算等及び各委員会の設立廃止に関し立案し会務を運営することを主務としている。例年同様 業界ニーズに的確な対応を図り産業振興に寄与する。

< 3-2 委員会関係 >

(1) **情報・編集委員会**（委員長：～平成 28 年 12 月：轟 章（東京工業大学）

平成 29 年 1 月～：久保内昌敏（東京工業大学）

毎月 1 回開催して協会誌の編集、掲載記事候補、特集の企画、協会誌読後感想、「まちかど F+R+P」他を審議・推進した。

電子メールでの会員の声の投稿先、「まちかど F+R+P」の投稿先を継続的にご案内し、また、毎月協会誌発行後に会員メールで読後のご意見・ご感想を求め、前述の会員の声と共に協会誌の「会員・読者の欄」で公開することにより、会員とのコミュニケーションを密にして活性化に繋げることを継続実施した。

FRP の基礎知識習得を目標とした“FRP 入門講習会”を開催した他、コンポジット市場動向等を目的として“海外 FRP 事情”の提供は会誌を通じて行った。

長年情報・編集委員会委員長を務めて頂いた轟 章先生から、平成 29 年 1 月から久保内昌敏委員長、荻原慎二副委員長体制に代わった。

ホームページを通じた協会事業の開示並びに内容充実に努めた。英語版に主要項目の更新・追記をした。情報発信力強化と会員様が活用しやすくするために、平成 29 年 1 月からホームページの充実とリニューアルの検討を開始した。

(2) **国際交流委員会**（委員長：野間口兼政（樹脂ライニング工業会））

海外視察：

- ・ CCE 2016 (8 月 31 日～9 月 2 日 上海) 約 10 名
- ・ JEC Asia 2016 (11 月 15 日～17 日 シンガポール)
- ・ CAMX 2016 (9 月 26 日～29 日 アナハイム) 1 名
- ・ JEC World 2017 (3 月 14 日～16 日 パリ) 27 名

協会誌報告：以下各報告

- ・「JEC World 2016 の概要」(6 月号)
- ・「CAMX 2016 の概要」(12 月号)
- ・「FRP の国際動向」(1 月号)
- ・協会活動報告 欧・米・アジア地域交流推進(10) (2 月号)
- ・「JEC Asia 2016 の概要」(3 月号)

61st FRP CON-EX 2016：国際交流委員会報告（11 月 24 日 広島県情報プラザ）

JEC World 2017 視察ツアー

会 期 平成 29 年 3 月 13 日～19 日

会 場 パリ

(3) **技能振興検定委員会**（委員長：大熊秀夫（日本タンク装備））

中央職業能力開発協会への FRP に関する技能、座学への協力を行った。

- ・強化プラスチック成形、手積み積層作業技能検定制度
- ・強化プラスチック成形、防食作業技能検定制度
- ・防水施工、FRP 防水工事作業検定制度
- ・外国人技能研修制度の改定に伴う随時 3 級（研修生の滞在期間の 2 年延長）
（平成 28 年 11 月 18 日成立、同年 11 月 28 日公布）

(4) **FRP性能評価委員会**（委員長：青木隆平（東京大学））

会員各位や部会等各組織及び官・公立機関からの問い合わせや相談に応じたが、委員会としての正式な対応までには至らなかった。

(5) **規格標準等関係委員会**

日本プラスチック工業連盟・規格部会（JIS、ISO など）の中での必要となる資料を基に活動中である。

(6) **環境委員会**

特定化学物質障害予防規制等の改正が、平成 26 年 11 月 1 日に施行・適用されている。スチレンモノマーが、有機溶剤から特定化学等の物質に指定されている。

協会誌平成 28 年 5 月号（中央労働災害防止協会、労働衛生調査分析センター・山田憲一氏）の記事が活用されている。

(7) **表彰委員会**（委員長：末益博志（上智大学））

平成 28 年度、推薦のあった功績賞、FRP 技術賞候補者につき審議を行い、授賞にふさわしいとの結論を得て会長に報告した。平成 28 年度 功績賞、FRP 技術賞各賞授賞者の発表及び表彰は第 62 回通常総会時に行われる。

< 3-3 部会関係 >

工業部会は特定の業種、特定の商品群に関する会員相互の技術水準の向上、情報交換等を目的として組織活動を行っている。いわゆる工業会的活動をとおして各々の組織の事業目的に沿った自主的な事業活動を推進した。

(1) **原料部会**（部会長：上期 西田康史（DIC マテリアル）、下期 市川鉄雄（昭和電工））
FRP 業界の市場動向の調査/分析並びに協会活動への積極的な協力/支援を行った。

- ① 国内「不飽和ポリエステル樹脂（ビニルエステル樹脂含む）・ガラス繊維使用 FRP 製品」の用途別、成形法別出荷推計資料の作成と定期広報
- ② 主要な FRP 製品の動向分析
- ③ 61st FRP CON-EX 2016 FRP 総合講演会で需要動向報告
- ④ JEC World 2016 視察参加と協会誌への投稿

(2) **耐食部会**（部会長：鈴木克己（富洋レジン工業））

- ① 耐食部会は 5 回（4 月 23 日、7 月 9 日、10 月 5 日、12 月 10 日、2 月 18 日）開催。
 - ・ 60th CON-EX 2015 秋葉原（10/15～16）の入場券配布。
- ② 耐食 FRP 劣化診断分科会は、4 回（5 月 21 日、8 月 27 日、11 月 19 日、1 月 21 日）開催。
 - ・ 耐食 FRP の劣化診断方法の確立として、味の素(株)川崎工場で塩酸タンクとして使用したサンプル入手後試験評価中。
 - ・ 非破壊検査方法の機器調査（委員）、
 - ・ FRPSC003（FRP 製耐食機器の性能検査指針）改定対応（劣化事例：写真、サンプル提供）
 - ・ 研究講演会、等情報活動。
- ③ その他の団体との連携
 - ・ 化学工学会装置材料部会有機材料分科会委員会活動及び関西 FRP フォーラム関係の講演会に参加。
 - 樹脂ライニング工業会研究会、日本複合材料会議等、情報活動に参加。

(3) **給水タンク部会**（部会長：清須美健治（積水アクアシステム））

- ・ 給水タンクの市場動向掌握
- ・ 水槽診断士制度の基準改訂/技術的協力
- ・ 「新水槽ビジョン」による FRP 水槽の役割/重要性を PR（広報活動）
- ・ （一財）ベターリビングの「給水タンク安心支援サービス」の運用と制度推進
- ・ 厚生労働省科学研究会/土木学会地震工学委員会への参画

(4) **タンクローリー部会**（部会長：鈴木正幸（富洋レジン工業））

休会中だが、部会員相互の情報交換は継続実施。

(5) **FRP 引抜成形工業部会**（部会長：柏女浄照（AGC マテックス））

- ・ 現在部会員は 1 社のみのため、主要な活動は休止中。
以下は協会全体活動への参画状況
- ・ 第 61st CON-EX 2016 の講演会を聴講。
- ・ FRP 関連の技術は、今後伸長が期待される CFRP の量産化技術に注力されておりより大量生産が可能となる引抜成形の可能性ウォッチ必要。

- ・鉄道橋の補修でも FRP 部材の応用が期待されており、引抜成形材も需要拡大が期待される。
- (6) 橋梁開発専門委員会準備委員会 (委員長：睦好宏史 (埼玉大学))
CON-EX2016 見学会 平成 28 年 11 月 26 日 (土)
見学場所 中島水産株式会社、人道用 FRP 橋梁
- (7) 廃FRPの再資源化
廃 FRP の再資源化は、各地の GFRP の再資源化業者に依頼して処理する工程が確立されている。
廃 FRP 発生に伴う問合せに対する再資源化業者の紹介で対応している。

4. その他の事業 (開発・研究関連等)

- (1) 熱可塑性複合材料(FRTP)研究会(研究会会長：濱田泰以 (京都工芸繊維大学))
第 7 回 平成 28 年 4 月 25 日 岐阜県工業技術研究所ぎふ技術革新センター
受講者数：53 名 (内企業非会員 17 名)
- (2) 炭素繊維成形・利用研究会 (研究会会長：末益博志 (上智大学))
第 4 回 平成 28 年 7 月 15 日 東レ・カーボンマジック株
受講者数：46 名 (内企業非会員 21 名)
- (3) FRP成形・利用に関する合同研究会 (研究会会長：末益博志 (上智大学))
第 1 回 平成 29 年 2 月 13 日 東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ
受講者数：58 名 (内企業非会員 25 名)